

観桜会に参加して

佐々木 秀雄

海老名北部公園目久尻川畔の桜も8分咲きの昨年4月、「県人会の菅谷さんが花見をやるそうだから佐々木さんはどう？」との藤田事務局長さんの誘いに、「料理教室のレシピを見ながらの「帆立の焼売」を少々作って馳せ参りました。いくつかの桜の下で車座で聞き覚えのある秋田弁混じりの笑い声と見覚えのある後頭部の輝き（笑）から我が県人会の花見と確信。菅谷さんの花見とは実は県人会役員の花見でした。戸惑っている自分に皆さんの暖かい歓迎の言葉と、料理もビールも各自持参として多すぎる秋田の宴会が始まっています。話題が秋田の方言から多岐にわたったり、NHKの受信料の納付率は秋田が日本一とか郷土自慢の話からも改めて秋田県人で良かったと、何十年ぶりの花見を堪能させてもらいました。

ほろ酔い気分での駅への帰り道、目久尻川の桜並木と丸々した大きな鯉を見ながら次回花見を楽しみに解散しました。■



古道・伊勢神宮の旅

七瀬 信五

2017年12月30日〜18年1月2日、念願の世界遺産・熊野古道（那智の滝）伊勢神宮へ行って来ました。

12月30日早朝、自宅を出発し、東名〜新東名を進み伊勢湾岸道路へ入る。年末の大渋滞を覚悟していたが、それほど渋滞は無く車は進み、予定時間より1時間半ほど遅れたが15時に熊野古道に到着。

高原熊野神社（中辺路なかへち）〜滝尻王子と歴史ある古道を5kmほど歩き、遠い昔に想いをはせる。

2日目は、日本三名瀑の一つ、那智の大滝へ行き、そのスケールの壮大さに圧倒される。そしていよいよ、今回の旅の主目的である「伊勢神宮」へ。まずは、外宮に行き、表参道火除橋から入り手水舎で心身を清め、正宮↓多賀宮↓土宮↓風宮と順にお参りし参拝終了。2日目の宿は、鳥羽マリノーターミナルから海を渡り坂手島・クスタペンションで宿泊。暖炉があり、なかなか趣のあるペンションでした。



さあ、年が明け元日、伊勢神宮内宮へお参りです。宿を7時25分に出て内宮の臨時駐車場に8時30分到着。少し駐車待ちをしたが、これまた予想はずれスムーズに駐車出来、いよいよ内宮へ。

さすがに参拝客は多いものの、行列はそれほどなく宇治橋を渡り参拝開始。個人のお願いをするのではなく日頃の感謝を伝えるという「正宮」でまずお参りをし、御稻倉〜荒祭宮〜風日祈宮と回りました。そして、いまや伊勢神宮のもう一つの名所となった、おはらい町・おかげ横丁で食事とショッピングを楽しみました。

今回の旅は今年1年の健康と安全を願う良い1年になるかなあと思いが、今年帰路に着きました。良い旅になりました。

「闘病記」

小野 勝雄



数年前の人間ドックで、「腹部大動脈瘤」があります。と、宣告されてから5年。大動脈が、3センチ程度であるべきなのに一部5センチに膨らんできてます。ボツボツ人工血管に置換する手術をしましょう。という事になった。

入院当日は二日酔いだったバカ

入院日の前夜、入院したらしばらくお酒が飲めないと思って、安売りの居酒屋「トツプ」で、いつもは記念日に飲む新潟銘酒の「菊水」アルコール度数は高め19度、一番搾り200ml1缶2つを買ってじっくり味わった。おは良かったが、翌朝目まいはするわ、おなかには気持ちは悪いわ、で、病院に着くまでにJAの事務所のトイレを借りてリバースして、ようよう入院先に辿り着いた。妻からはバカだのチョンだの大いに叱られた。入院という言葉だけでお酒に弱くなっていたらしい。



人工血管手術とオナラ

手術はおなかを開けて血管の一部を人工血管に無事置換できた。ICUから個室に移された頃、食事はまだ先なので点滴で栄養補給していた。そして医師も看護師も早くガスが出ればいいね。という。しかし2日たってもオナラは出ない。顔を見るたびにガスは：？と。3日目から下剤が多くなり、おなかで張って苦しい。が、オナラは出ない。ガスが出ないと食事は出せないという。4日目に何とかガスが出てホッとした。

という。そのためICUから出されたら、「歩け、歩け！」とハッパかけるのだとか。4人部屋で、夜中に隣のベッドから「プーッ！」と音がするとうらやましかった。みんなで「ガスは出たか？」と声をかけ合い、励まし合いました。朝飯だ。術後5日目。待ちに待った朝飯に胃が小躍りした。薄い糊のようなお粥だけれど、最初の一口目で美味しさが口いっぱい広がった。添えられた少しの塩をかけて頂くと舌はこの味を逃すまいと、唾液を放出し、一気に喉に送り込む。味噌汁に固形物は見当たらない。しかしカツオダシが効いていてとても美味しい。牛乳は身体にタンパク質・脂質とカルシウムを、ミカンジュースはカリウムとビタミンを注ぎ込んでくれた。粗末な食事だったが感動的だった。そして、予定通りに無事退院。この度の手術で看病してくれた妻に感謝申し上げたい。ありがとう。



「編集後記」

のどかない季節になりました。人里を歩くと野花がいっぱい。6月4日の鋸山方面へのバス旅行でも変わった花が見られるかも。会員の皆さんから草花の原稿頂けたら嬉しいのですが。



会員の方より文字が小さくて読みにくいのご指摘があり、今号はほんの少しだけ本文を大きくしてみました。今後もご意見お寄せください。(川村)